

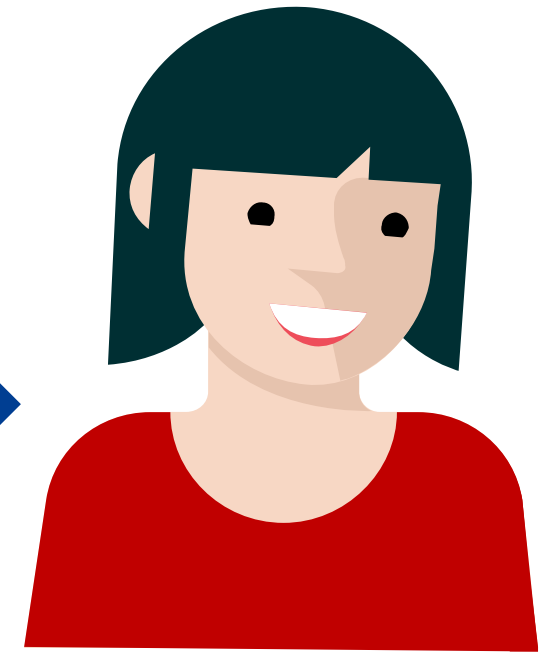


年度更新資料  
アカウントデバイス更新ガイド 2022年3月版





卒業・転出生

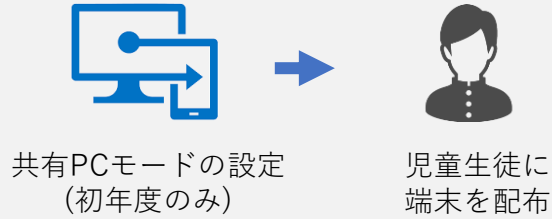


入学・転入生

# ユーザープロファイルの初期化方法の比較

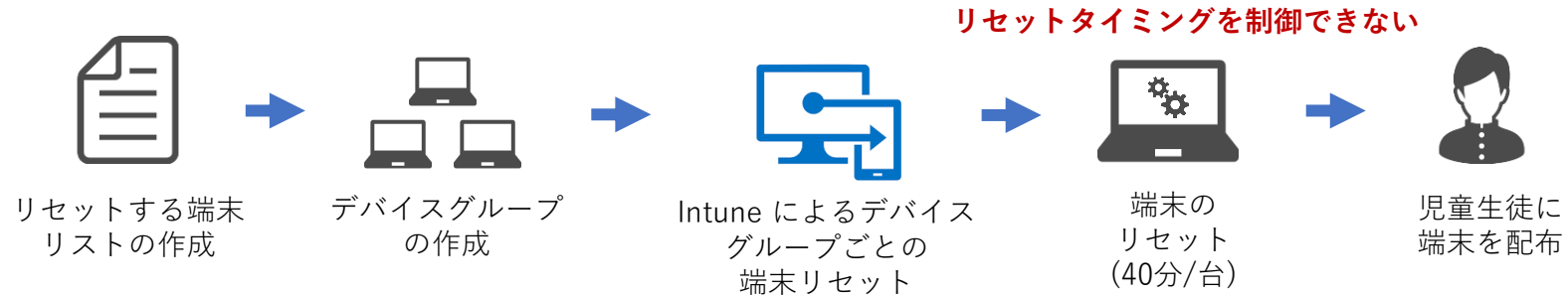
★★★★

## 共有PCモード



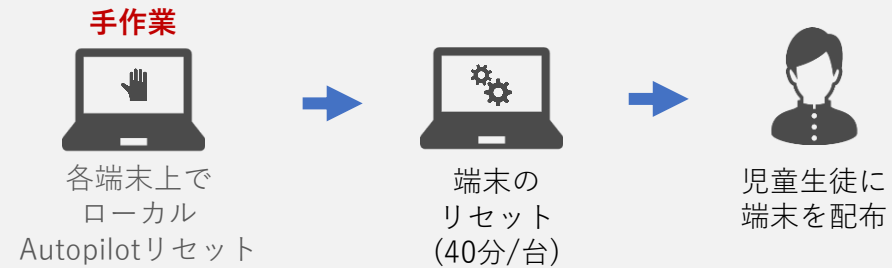
★★★

## Autopilotリセット



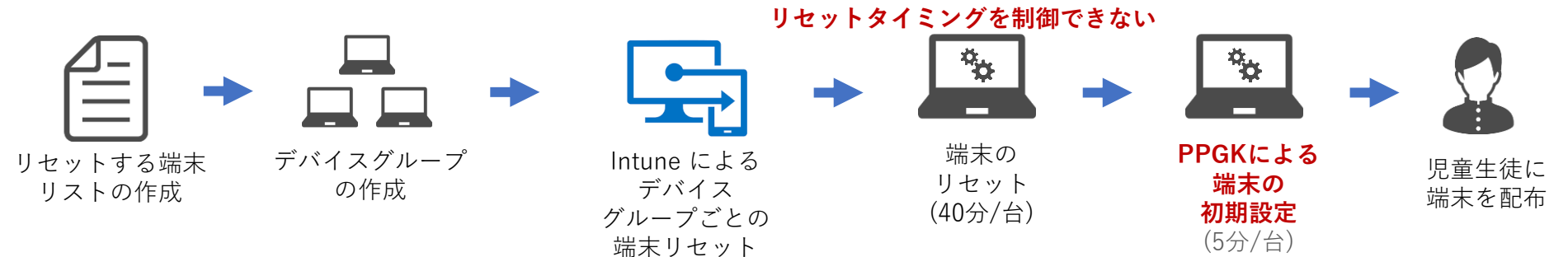
★★★

## ローカルAutopilotリセット



★

## 工場出荷時の設定へのリセット



# それぞれの初期化方法で削除される情報一覧

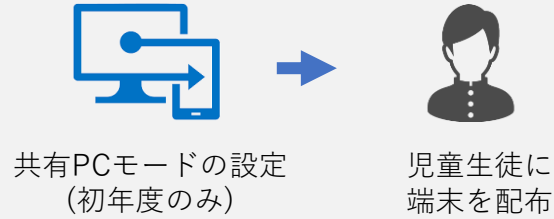
項目	共有 PC モード	Autopilot リセット	Windows 10 の回復※
ユーザーが追加したデータ	●	●	●
個人で行った設定	●	●	●
インストールされたアプリ		●	●
地域・言語・キーボードの設定			●
Wi-Fi 設定			●
プロビジョニング パッケージ			●
Azure AD への登録状態の維持			●

# ユーザープロファイルの初期化方法の比較

本資料で手順紹介

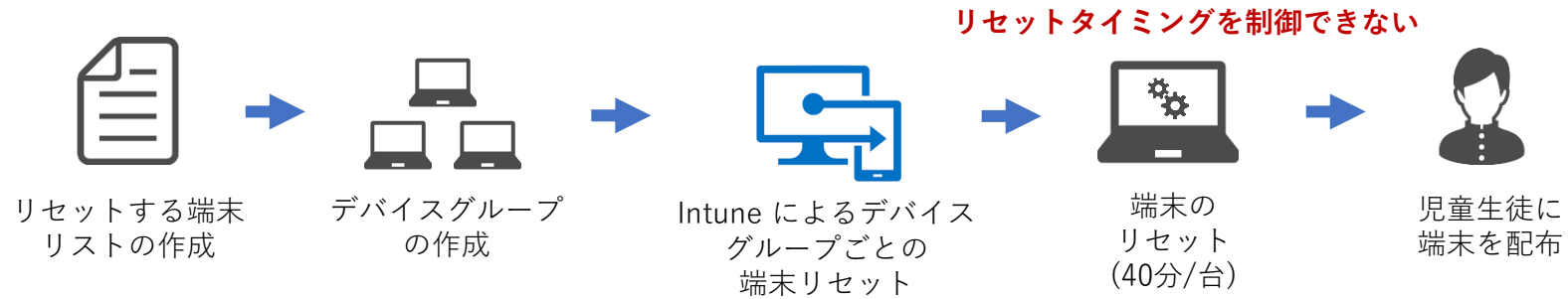
★★★★

共有PC  
モード



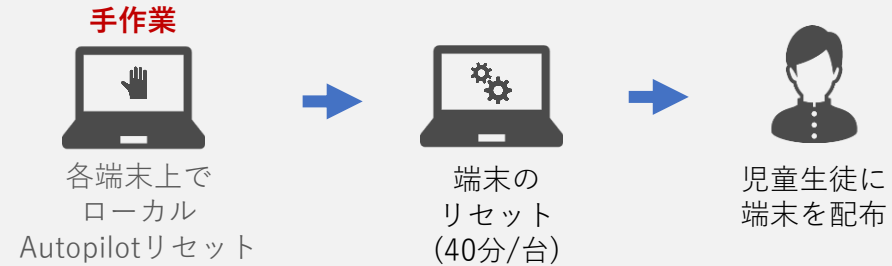
★★★

Autopilot  
リセット



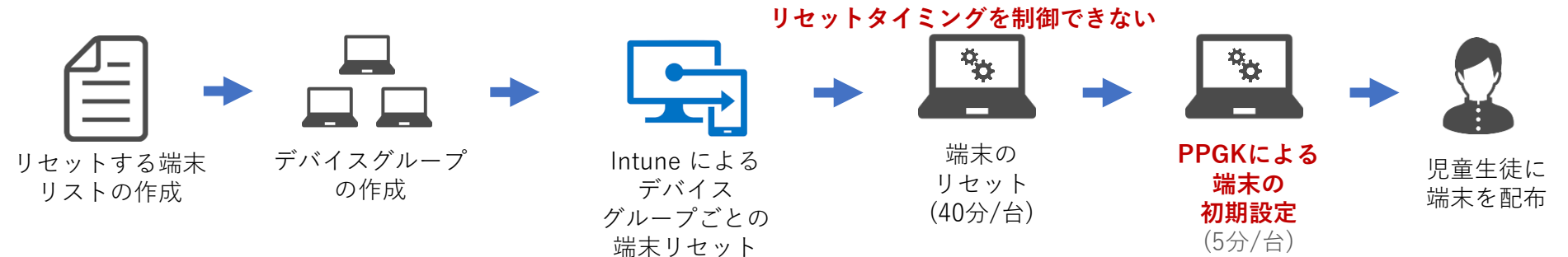
★★★

ローカル  
Autopilot  
リセット



★

工場出荷  
時の設定  
への  
リセット



★★★★  
1. 共有PCモード



# 共有 PC モードについて

## 共有PCモード

共有 PC モードは「Windows 10 Anniversary Update (1607)」で搭載された機能で、複数のユーザーによるアクセスを想定した設定がされます。

共有 PC モードでは、ディスク容量が少なくなると、アクセス順がもっとも古いアカウントから自動削除されます。またシステム管理者はこの削除を実施するタイミングを指定する閾値を設定したり、ユーザーがログオフ直後に削除するように共有 PC モードを構成できます。

共有PCモードの Windows PC では、卒業生が使っていた端末を何も作業せずにそのまま新入生に渡すことができます。

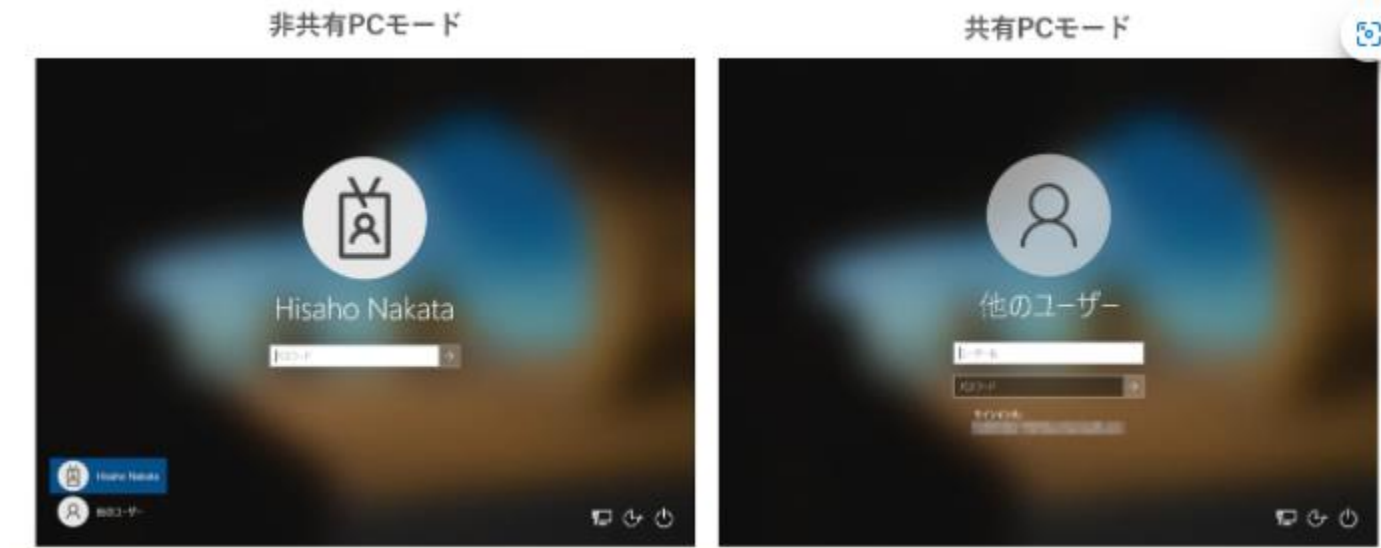


# 共有 PC モードについて

## 共有PCモード利用時の注意点

共有 PCモードでは一定期間非アクティブなユーザーがいた場合、そのユーザーのデータやプロフィールが自動削除されるため、個人データを消しつつ、プロビジョニングパッケージを残した運用(Azure ADへの参加やWi-Fiの設定済みなど)が可能です。

一方、Windows 端末へのサイン画面で毎回ユーザー名を入力する必要があります。





★★★  
2. 共有PCモードの設定方法



# 共有PCモードの設定方法

1. [Microsoft Endpoint Manager](#)にサインインして、管理者アカウントでサインインします。
2. 「デバイス」－「構成プロファイル」をクリックし、一覧から「Shared PC Policy」をクリックします。

The screenshot displays the Microsoft Endpoint Manager admin center interface. The left-hand navigation pane is visible, with the 'デバイス' (Devices) menu item highlighted. A red box is drawn around 'デバイス' and another around '構成プロファイル' (Configuration Profiles) in the sub-menu. A red arrow points from the 'デバイス' box to the '構成プロファイル' box. The main content area shows the 'デバイス | 構成プロファイル' page. A search bar at the top contains the text '名前を検索してください'. Below the search bar, a table lists various configuration profiles. The 'Shared PC policy' row is highlighted with a red box, and a red arrow points from the '構成プロファイル' box in the left pane to this row.

プロファイル名	プラットフォーム
Default Admx policy for EDU	Windows 10 以降
Default iOS device policy for EDU	iOS/iPadOS
Default Policies for EDU	Windows 10 以降
Defender for Endpoint	Windows 10 以降
Edition Upgrade Policy	Windows 10 以降
Shared PC policy	Windows 10 以降

# 共有PCモードの設定方法

まず最初に、プロファイル削除のしきい値を設定します。

3. Shared PC Policy選択後、「プロパティ」から「構成設定」の右にある編集をクリックします。

4. 共有PCモードを有効にします。

ホーム > デバイス > Shared PC policy

Shared PC policy | プロパティ ...

デバイスの構成プロファイル

検索 (Ctrl+F)

概要

管理

プロパティ

モニター

デバイスの状態

ユーザーの状態

設定ごとの状態

基本 編集

名前

説明

プラットフォーム

構成設定 編集

共有のマルチユーザーのデバイス

教育ポリシー

有効

スコープ タグ 編集

既定

割り当て 編集

3 構成設定の右の“編集”をクリック



ホーム > デバイス > Shared PC policy >

共有のマルチユーザーのデバイス ...

Windows 10 以降

構成設定 レビューと保存

組織内で複数のユーザーによって使用される共有の Windows 10 以降を実行するデバイスのアクセス、アカウントの削除、メンテナンス、電源管理設定を構成します。

複数の OS バージョンがサポートされている組織では、アカウント マネージャーの設定は、HoloLens デバイスに適用されません。

詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

共有 PC モード

有効にする 構成されていません

Guest アカウント

アカウント管理

アカウントの削除

削除開始のしきい値(%)

削除停止のしきい値(%)

非アクティブなアカウントのしきい値

ゲスト

有効

記憶域スペースのしきい値と非アクティブなしきい値で

ディスク領域のパーセンテージを入力してください(0-100)

ディスク領域のパーセンテージを入力してください(0-100)

日数を入力

4 “有効にする”をクリック

# 共有PCモードの設定方法

5. 「アカウント管理」を有効にしてしきい値を設定します。

6. しきい値を設定したら「レビューと保存」－「保存」をクリックして設定を保存します。

ホーム > デバイス > Shared PC policy >

## 共有のマルチユーザーのデバイス

Windows 10 以降

1 構成設定 2 レビューと保存

組織内で複数のユーザーによって使用される共有の Windows 10 以降を実行するデバイスのアクセス、アカウントの削除、メンテナンス、電源管理設定を構成します。

複数の OS バージョンがサポートされている組織では、すべてのバージョンに対して同様にこれらの設定が適用されない可能性があります。アカウント マネージャーの設定は、HoloLens デバイスに適用される唯一の設定です。

詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

共有 PC モード ① 有効にする 構成されていません

Guest アカウント ①

アカウント管理 ① **5 アカウント管理を有効**

アカウントの削除 ①

削除開始のしきい値 (%) ① 記憶域スペースのしきい値と非アクティブなしきい値で

削除停止のしきい値 (%) ① ディスク領域のパーセンテージを入力してください(0-100)

非アクティブなアカウントのしきい値 ① 日数を入力

レビューと保存 キャンセル **6 設定後に保存**

設定	説明
アカウント管理	アカウント管理サービスが共有 PC モードで有効になると、アカウントは自動的に削除されます。削除は、Active Directory、Azure Active Directory、ゲストによって作成されたローカル アカウントに適用されます。アカウント管理は、サインオフ時、およびシステムのメンテナンス期間中に、自動的に実行されます。
アカウントの削除	共有 PC モードでは、ディスク領域が少なくなった場合、およびアカウントの非アクティブ状態が長すぎる場合、サインアウト時にすぐにアカウントを削除するように構成できます。 <b>[記憶域スペースのしきい値で]</b> 、 <b>[記憶域スペースのしきい値と非アクティブなしきい値で]</b> 、 <b>[ログアウト直後に]</b> の3つから選択できます。この設定はデフォルト設定ではなく <b>[記憶域スペースのしきい値と非アクティブなしきい値で]</b> を選択してください。
削除開始のしきい値 (空き領域の割合：%)	アカウント マネージャーは、ディスク/記憶域スペースの合計が構成されたしきい値を下回るとすぐに、キャッシュされたアカウントの削除を開始します。継続的に削除を行ってディスク領域を解放します。アクティブでない状態が一番長く続いているアカウントから最初に削除されます。(0-100)
削除停止のしきい値 (空き領域の割合：%)	アカウント マネージャーは、ディスク/記憶域スペースの合計が構成されたしきい値に到達するとすぐに、キャッシュされたアカウントの削除を停止します。(0-100)
非アクティブなアカウントのしきい値	サインインせずに連続で何日経過したらアカウントを削除するか。

# 共有PCモードの設定方法

次に、構成プロファイルをデバイスに割り当てます。ここでは「すべてのデバイス」に割り当てる方法を紹介します。

7. 「プロパティ」から「割り当て」の右にある編集をクリックします
8. 「+すべてのデバイスを追加」をクリックします。

ホーム > デバイス > Shared PC policy

Shared PC policy | プロパティ ...  
デバイスの構成プロファイル

検索 (Ctrl+/) << 構成設定 編集

概要

管理

- プロパティ

モニター

- デバイスの状態
- ユーザーの状態
- 設定ごとの状態

共有のマルチユーザーのデバイス

共有 PC モード	有効にする
アカウント管理	有効
アカウントの削除	記憶域スペースのしきい値で
削除開始のしきい値(%)	
削除停止のしきい値(%)	
非アクティブなアカウントのしきい値	
教育ポリシー	有効

スコープ タグ 編集

既定

割り当て 編集

組み込まれたグループ

グループ	フィルター
結果がありません。	

除外されたグループ

グループ
結果がありません。

7 割り当ての右の“編集”をクリック

ホーム > デバイス > Shared PC policy >

共有のマルチユーザーのデバイス ...  
Windows 10 以降

1 割り当て 2 レビューと保存

組み込まれたグループ

グループを追加 すべてのユーザーを追加 + すべてのデバイスを追加

グループ フィルター フィルターモード

グループが選択されませんでした

除外されたグループ

グループを除外する場合、“含める”と“除外する”でユーザーとデバイスのグループを同時に指定することはできません。グループの除外の詳細については、[ここをクリックしてください。](#)

+ グループを追加

グループ

グループが選択されませんでした

8 「すべてのデバイスを追加」をクリック

# 補足) デバイスグループに割り当てる方法

特定のデバイスグループに割り当てる場合は、次の方法で割り当てます。  
8'. 「組み込まれたグループ」の下にある「グループを追加」をクリック  
9'. 割り当てたいグループを選択して「選択」をクリック

ホーム > デバイス > Shared PC policy >  
共有のマルチユーザーのデバイス ...  
Windows 10 以降

1 割り当て 2 レビューと保存

組み込まれたグループ

グループを追加

グループ

グループが選択されませんでした

除外されたグループ

グループを除外する場合、「含める」と「除外する」でユーザーとデバイスのグループを同時に指定することはできません。[グループの除外の詳細については、ここをクリックしてください。](#)

+ グループを追加

グループ

グループが選択されませんでした

含めるグループを選択  
Azure AD グループ

検索

GI GIGAデバイスグループ  
選択済み

教 教職員グループ  
teachers@ms2.tokyo

教職 教職員ユーザーグループ

教職 教職員校務PC

選択したアイテム

GI GIGAデバイスグループ 削除

選択

# 共有PCモードの設定方法

9. 「組み込まれたグループ」に「すべてのデバイス」が追加されたことを確認します。
10. 「レビューと保存」 - 「保存」とクリックして割り当てを完了します。

ホーム > デバイス > Shared PC policy >

## 共有のマルチユーザーのデバイス

Windows 10 以降

1 割り当て 2 レビューと保存

組み込まれたグループ

9 「組み込まれたグループ」に「すべてのデバイス」が追加されたことを確認

グループ	フィルター	フィルターモード		
すべてのデバイス	なし	なし	フィルターの編集	削除

除外されたグループ

グループを除外する場合、「含める」と「除外する」でユーザーとデバイスのグループを同時に指定することはできません。[グループの除外の詳細](#)については、ここをクリックしてください。

+ グループを追加

グループ

グループが選択されませんでした

10 設定後に保存

レビューと保存 キャンセル

ホーム > デバイス > Shared PC policy

## Shared PC policy | プロパティ

デバイスの構成プロファイル

設定完了後

検索 (Ctrl+F) << 構成設定 編集

概要

管理

共有のマルチユーザーのデバイス

共有 PC モード 有効にする

アカウント管理 有効

モニタ

アカウントの削除 記憶域スペースのしきい値と非アクティブなしきい値で

デバイスの状態 削除開始のしきい値(%) 25

削除停止のしきい値(%) 50

ユーザーの状態 非アクティブなアカウントのしきい値 30

設定ごとの状態 教育ポリシー 有効

スコープ タグ 編集

既定

割り当て 編集

組み込まれたグループ

グループ	フィルター
すべてのデバイス	なし

除外されたグループ

グループ

結果がありません。

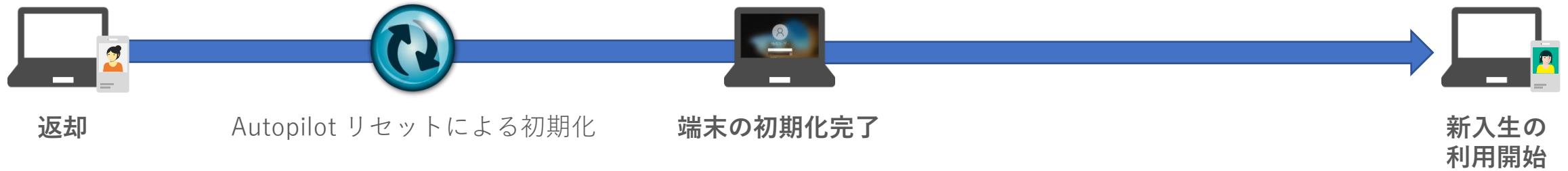


## 2. Autopilot リセット





# Autopilotリセット



Autopilot リセットによる初期化の場合、プロビジョニング パッケージが削除されずに個人データだけが削除されるため、再セットアップが簡単に行える特徴があります。

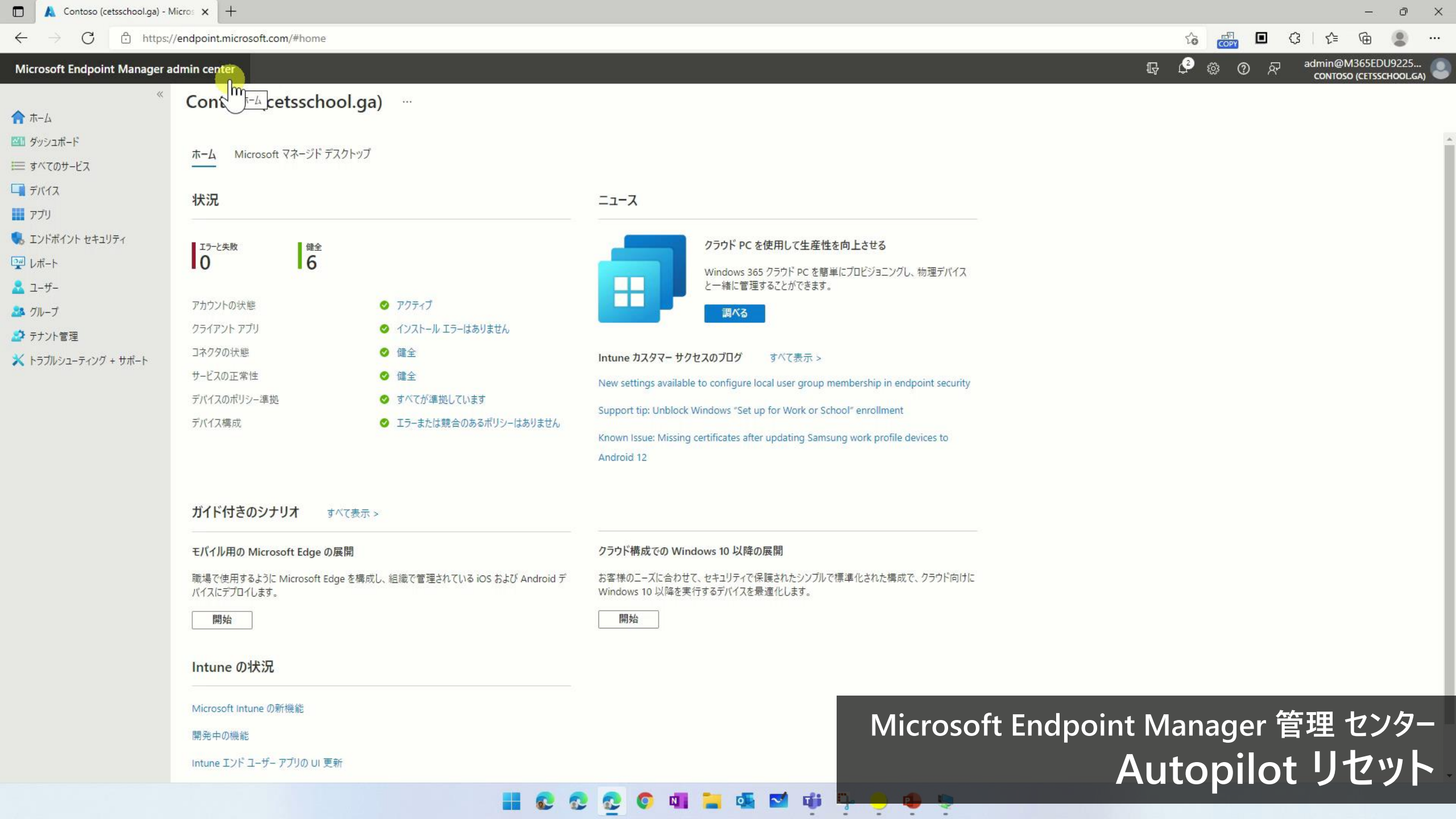
一方、初期展開時に手動で展開したアプリは削除されるため、再インストールの必要があります。



Autopilot リセットを利用するためには事前にすべての対象デバイスを Autopilot に変換するように設定する必要があります。

## 2-1. Autopilot リセットの設定





- ホーム
- ダッシュボード
- すべてのサービス
- デバイス
- アプリ
- エンドポイントセキュリティ
- レポート
- ユーザー
- グループ
- テナント管理
- トラブルシューティング + サポート

## Contoso (cetsschool.ga)

ホーム Microsoft マネージド デスクトップ

### 状況

エラーと失敗  
**0**

健全  
**6**

- アカウントの状態 ✓ アクティブ
- クライアント アプリ ✓ インストール エラーはありません
- コネクタの状態 ✓ 健全
- サービスの正常性 ✓ 健全
- デバイスのポリシー準拠 ✓ すべてが準拠しています
- デバイス構成 ✓ エラーまたは競合のあるポリシーはありません

### ガイド付きのシナリオ [すべて表示 >](#)

#### モバイル用の Microsoft Edge の展開

職場で使用するように Microsoft Edge を構成し、組織で管理されている iOS および Android デバイスにデプロイします。

開始

### Intune の状況

[Microsoft Intune の新機能](#)

[開発中の機能](#)

[Intune エンドユーザー アプリの UI 更新](#)

### ニュース



#### クラウド PC を使用して生産性を向上させる

Windows 365 クラウド PC を簡単にプロビジョニングし、物理デバイスと一緒に管理することができます。

調べる

#### Intune カスタマー サクセスのブログ [すべて表示 >](#)

[New settings available to configure local user group membership in endpoint security](#)

[Support tip: Unblock Windows "Set up for Work or School" enrollment](#)

[Known Issue: Missing certificates after updating Samsung work profile devices to Android 12](#)

#### クラウド構成での Windows 10 以降の展開

お客様のニーズに合わせて、セキュリティで保護されたシンプルで標準化された構成で、クラウド向けに Windows 10 以降を実行するデバイスを最適化します。

開始

Microsoft Endpoint Manager 管理センター  
Autopilot リセット

Hyper-V™



この PC を初期状態に戻しています (81%)

クライアントのPC  
Autopilot リセット

## 2-2.Autopilot リセット 一括設定



# Autopilotリセット一括設定

1. Microsoft Endpoint Managerにサインインします。
2. 「デバイス」－「Windowsのデバイス」－「デバイスの一括操作」をクリックします。

The screenshot shows the Microsoft Endpoint Manager admin center interface. The breadcrumb navigation path is: ホーム > デバイス > Windows | Windows のデバイス > デバイスの一括操作. The '一括操作' (Bulk Actions) link is highlighted with a red box and a red arrow pointing to it from a box containing the number '2'. Below the navigation, there is a search bar, a refresh button, and a table of devices. The table has columns for 'デバイス名', '管理者', '所有権', '対応', and 'OS'. One device is listed: 'win10pront' with 'Intune' as the administrator, '企業' as the ownership, and '準拠している' as the status.

デバイス名 ↑↓	管理者 ↑↓	所有権 ↑↓	対応 ↑↓	OS
win10pront	Intune	企業	✔ 準拠している	Win

# Autopilotリセット 一括設定

3. 対象のOSを選択します。



4. デバイスアクションでAutopilotリセットを選択します。



前へ

次へ

# Autopilotリセット一括設定

5. 対象のOSを選択します。

Microsoft Endpoint Manager admin center

ホーム > デバイス > Windows >

5 リンクをクリック

少なくとも 1 つのデバイスを選択する必要があります

基本 **デバイス** 確認および作成

0 台のデバイスが選択されています (最大 100 台)

デバイスは追加されていません

+ 含めるデバイスを選択

6. デバイスアクションでAutopilotリセットを選択します。

デバイスの選択

6 デバイスをクリックして選択

IMEI、シリアル番号、メール、ユーザー...

OS == Windows フィルターを追加

デバイス名	プライマリ ユーザーの UPN	OS
CATENAR-3AJI18D		Windows
m365lab01		Windows
m365lab02		Windows
win10ntpre		Windows
win10pront		Windows

選択済み デバイス:

CATENAR-3AJI18D	Windows	削除
m365lab01	Windows	削除
m365lab02	Windows	削除
win10ntpre	Windows	削除
win10pront	Windows	削除



# Autopilotリセット一括設定

7. 対象のOSを選択します。

Microsoft Endpoint Manager admin center

ホーム > デバイス > Windows >

## デバイスの一括操作

基本 デバイス **3 確認および作成**

概要

基本

デバイス アクション Autopilot リセット

OS Windows

デバイス

5 台のデバイスが選択されています (最大 100 台)

デバイス名	プライマリ ユーザーの UPN	OS
CATENAR-3AJI8D	[REDACTED]	Windows
m365lab01	[REDACTED]	Windows
m365lab02	[REDACTED]	Windows
win10ntpre	[REDACTED]	Windows
win10pront	[REDACTED]	Windows

前へ 作成

7 [作成] をクリック

✔ すべてのデバイスでAutopilot リセットの開始成功

Intune から 5 台のデバイスでAutopilot リセットを開始しました

# 参考URL

- [GIGAスクール年度更新ハンドブック | Microsoft 365 - Qiita](#)



© Microsoft Corporation. All rights reserved.

本資料は情報提供のみを目的としており、本資料に記載されている情報は、本資料作成時点でのマイクロソフトの見解を示したものです。状況等の変化により内容は変更される場合があります。本資料に特別条件等が提示されている場合、かかる条件等は、貴社との有効な契約を通じて決定されます。それまでは、正式に確定するものではありません。従って、本資料の記載内容とは異なる場合があります。また、本資料に記載されている価格はいずれも、別段の表記がない限り、参考価格となります。貴社の最終的な購入価格は、貴社のリセラー様により決定されます。マイクロソフトは、本資料の情報に対して明示的、黙示的または法的な、いかなる保証も行いません。